学校番号	3031

令和８年度　創知

教科	(学)創知	科目	(学)創知Ⅲ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	創知テキスト（自主教材）、数学分野の各種書籍等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

創知という教科は天王寺高校独自のカリキュラムであり，通常の授業のように入試科目になったり定期考査を毎回行ったり，専用の問題集があるわけではない。教科の名前からもわかるように「創り出す」教科である。創知Ⅰ，Ⅱで身につけた能力の実践の場として、主体的に粘り強く探究する態度を養いたい。これまで帰納的な推論を中心に行ってきたのに対して、３年次は演繹的に探究する能力を身につけることを目的とし、全生徒が学問としての数学を題材とした探究活動を行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学分野の探究活動を実施するために必要な基本的な概念や原理・原則を理解する。演繹的な探究活動と帰納的な探究活動の違いを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
得られた推論を批判的に検討し改善することができる。その際、情報を過不足なく示すことで論理的に表現し、他者に誤解なく伝えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
これまで学習した内容、獲得した知識を教科横断的に活用しようとし、探究活動を深めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究活動を実施するなかで、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけており、正しく運用している。	既知の事実から未知とされている問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を考察し、導き出した考えを論理的に表現している。	探究活動に興味を示し、積極的に理解しようとする態度や必要に応じて他者と協働し、課題を解決しようとする態度を身に付けている。 適宜、これまでの活動を振り返り、不十分な点を分析し、今後の活動につなげようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	研究活動	・研究班の決定 ・研究テーマの決定 ・研究計画 ・研究活動	a: 基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけており、正しく運用している。 b:見通しを立てて研究テーマの設定、研究計画がなされている。既知の事実から未知とされている問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を考察し、導き出した考えを論理的に表現している。 c: 探究活動に興味を示し、積極的に理解しようとする態度や必要に応じて他者と協働し、課題を解決しようとする態度を身に付けている。 適宜、これまでの活動を振り返り、不十分な点を分析し、今後の活動につなげようとする。	小テスト・定期考査等	小テスト・定期考査等 パフォーマンス課題	成果物 パフォーマンス課題
後期	研究活動	研究活動	a: 基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけており、正しく運用している。 b:既知の事実から未知とされている問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を考察し、導き出した考えを論理的に表現している。 c: 探究活動に興味を示し、積極的に理解しようとする態度や必要に応じて他者と協働し、課題を解決しようとする態度を身に付けている。 適宜、これまでの活動を振り返り、不十分な点を分析し、今後の活動につなげようとする。	小テスト・定期考査等	小テスト・定期考査等 パフォーマンス課題	成果物 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度